

年間学習計画と評価について

学 校 名	学 年	教 科
内 部 中 学 校	3 年	技術・家庭科 技術分野

1 学習のねらい等

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 手作業や機械を使ったものづくりを通して、人間の生活や産業を豊かにしてきた技術についての興味や関心を高める。また、ものをつくる際の苦勞と達成感を感じることを通して、ものを大切にする態度を身につける。 ○ 電気エネルギーを他のエネルギーに変換して利用する仕組みを理解しようとしている。 ○ 動力を伝達する仕組みのをビデオや模型を利用して理解しようとしている。 ○ からくりパネルの製作を通して、動く仕組みを利用して規則的な動きを活かしたパネル作りができる。
使用教材	教科書：東京書籍「新編 新しい技術・家庭 技術分野」 補助教材：からくりパネル

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①生活や技術への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりやエネルギー変換に関する技術について関心を持ち、地球環境問題などと関連づけながら、生活をよりよくするために、知識と技術を進んで活用しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加の様子 ・プリントの記入内容 ・振り返りカードの記入内容
②生活を工夫し創造する能力	<ul style="list-style-type: none"> ・生活と技術との関わりについて見直し、課題を見つけるとともに、その解決のために技術を適切に活用して工夫し創造する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での発言内容と行動 ・プリントの記入内容 ・工具使用の様子
③生活の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりやエネルギー変換に必要な基礎的な技術を身につけ、その技術を安全で適切に活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工具使用の様子 ・製作品の設計・加工・組立状況 ・作品の仕上がりの様子
④生活や技術についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や産業の中での技術の役割について理解し、ものづくりに必要な基礎的な知識を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
一 学 期	1. エネルギー変換と力の伝達及びエネルギー変換の方法について	<ul style="list-style-type: none"> ①エネルギー変換やその利用、力の伝達についての知識を身につけている。 ②エネルギー変換について、その方法を理解しようとしている。 ③動力の伝達方法について理解しようとしている。
二 学 期	2. エネルギー変換と力の伝達及びエネルギー変換を利用したものづくり「リンク装置」の模型製作	<ul style="list-style-type: none"> ①製作に使用する機器の仕組みに興味を持ち、その保守と事故防止について関心をもっている。また、その知識を作業に活かそうとしている。 ②目的にあわせた作品を完成させるために、自分の技量に適した作業方法を工夫できる。 ③厚紙を用いて、組立や加工ができる。

三 学 期	3. 「からくりパ ネル」の製作	<p>①製作に使用する機器の仕組みに興味を持ち、その保守と事故防止について関心をもっている。また、その知識を作業に活かそうとしている。</p> <p>②目的にあわせた作品を完成させるために、自分の技量に適した作業方法を工夫できる。</p> <p>③作品の組立や加工ができる。</p> <p>④作品を着色したり、立体的な構造を工夫して現実の場面に近づけようとしている。</p>
-------------	---------------------	---

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に見たこと、聞いたこと、体験したことで気になることは随時ノートに記入しておきましょう。 ・先生の話をよく聞くことで、安全に能率よく作業ができるように技術の向上を目指しましょう。 ・提出物は期限を守って必ず出しましょう。
	家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・新しく開発された技術や製品はニュースなどでチェックしておきましょう。